

## 赤磐市はこのままでよいのか（随時改訂）

赤磐市は自然環境だけでなく、岡山市のベッドタウンとして社会的にも恵まれていると思うが、恵まれた条件が活かされていないのではないか。市が発足してから18年になるが発展してきたのか。市民が **年々良くなってきた、ここに住んでよかった** と実感できる“まち”になってほしい。以下、偏見を承知で私の想いを述べましたので 一読いただければ幸いです。

- ① **ごみ処理**：焼却灰と埋立てごみを大型トラック 30 数台で奈良県御所市まで搬出する現状は環境と財政で許されることでない。最終処分場の予定地に建設を急ぐべきである。現在2炉稼働を1炉にすれば運用がしやすくなり、ごみ処理コストを減らすことにもなる。そのための**可燃ごみ減量**方法であるが、市街地以外の農業地域から出る野菜屑などを可燃ごみ扱いせずに、別途に燻溜処理することを提案する。かねてDr.矯 学真(山陽3丁目に在住)が考案して日本国特許を取得、テストプラントで基本プロセス確認済の**生ごみ燻溜処理方式**を提案したことがあるが、行政は話を聞くだけであった。この方式を実用化（連続運転とスケールアップ）すれば当市だけでなく全国で焼却ごみ量が大幅減となり、ひいては地場鉄工所の振興にもつながると思っている。樹木の剪定屑や落葉・除草屑を堆肥化するべきは言うまでもない。

燻溜：ごみを焼かずに燻すので排出物がない。煙を冷やして木酢液を、固形物は畑に鋤きこんで化学肥料なしの農業を実現。

[燻ちゃんプロジェクト（要旨）] [新しいごみ処理施設を見学して]

- ② **旧県道**：南の岩田から北の中島口まで、市役所・公民館・図書館に沿う基幹道路であり小・中学校の通学路でもあるが、旧態依然で30年前と変わらない。ヨーロッパの旧市街を歩き、旧県道をクロスバイクで往来する筆者が考える改善案を次に記す。

a) **岩田~下市**を **歩道**・**自転車レーン**・**車道**の3区分にして、バリアなしのカラー舗装に。現状の歩道は幅1m 足らずで住居ごとに凸凹があり、小中学生の通学路として極めて危険。車道を1車線（河本→岩田を一方通行）に、沿道住民の理解を得られないという見方があるが、新県道と山陽団地を貫く市道幹線が両側にあるため許容内。歩行者天国や祭り行列ができ、沿道商店の賑わいも期待できる。岡山市内で県庁通りとあくら通りの一方通行が定着しているのを見ても、当市は考えを改めなければならない。

b) **道沿いの用水路**を暗渠にするか グレーティングで蓋をすれば安全で、拡幅もできる。

- ③ **中心市街地**：赤磐市の顔である中心市街地を再開発すれば市のイメージが一新する。旧山陽町時代から変わったのは中央図書館周辺だけである。それを妨げているのは **みのるグループ**の工場群である。岡山駅近くの広いスペースがイオンモールに生まれかわったのを引き合いにするまでもなく、東京や大阪でも一等地相当区画が様変わりしたのは珍しくない。**みのる**も工場と研究農園の移転で事業発展が期待できるはずだ。行政トップが再開発プランを用意して、みのる経営陣と話しあえばどうか。この課題を都市計画の上位に据えて“まちづくり”を進めてもらいたい。

- ④ **桜が丘中央の未利用地**：ほぼ6千坪の残された地面を市民の**憩いの森**に、何より地球温暖化抑制のミッションを赤磐・桜が丘が率先して実行する緑化の意義がある。道路を隔て交流センター・桜が丘プラザ・消防機庫を併せたスペースを公民館と音楽ホールを一体化した施設にすれば、桜が丘中央に相応しい一画になるのではないか。



バリ・シャンゼリゼに沿う緑陰

[桜が丘中央の未利用地について] [見果てぬ夢]

- ⑤ **桜が丘周辺の自然**：団地周辺の池と周りの保健保安林を手入れして親水公園に。また西10丁目の墓地用地とそこに連なる東6丁目背後の山林を樹林墓地公園にすれば、東南部の磐山~観音山と対称に西北部にも豊

かな緑地が生まれて団地のイメージが変わると思う。 [桜が丘に緑と水を] [樹林墓地公園の提案]

⑥ **環境に適合しない企業誘致**：山陽ふれあい公園東側の市道を昇りつめた先にジャパンロジスティックスの物流基地がある。以前の中古車競り施設が山陽ICの近くへ移ったが、またもや大型トラックが頻繁に往来するようになった。山陽ICから県道27号を2km余の混雑要因と続く市道が急坂と3ヶ所のカーブで安全上の問題もあるのになぜここに誘致したのか。尾谷東部の高台にあるこの地は自然環境に恵まれた環境で、隣接の全3区画は教育、研究、福祉などに絶好の適地である。IPUや理科大、就実大などに拡張ニーズがあるかもしれない。

⑦ **桜が丘入口の街路樹**：日古木・中島口から西1丁目への県道に沿う30本ほどのイチョウ並木は上り勾配と曲線が相俟って申分ない景観であるが、30年を超える樹木にしては黄葉時にボリューム感がない。歩道脇の土量が山側と比べようもなく少ないからであろう。土留めの杭を打つなどして、肥沃な土壌にすれば本来の姿にできるはずである。

◎**その他**：山陽団地の活性化など急ぐべき重要課題があるが、行政と議会がどれほど真剣に取り組んでいるのか見えてこない。住民参加で集中して問題解決に向うべきだと思う。桜が丘中央についても言えるが、元来土地は地域の公共財であるのに個人の私権に拘りすぎでは事が進まない、一部の問題を理由に実行しないのは行政の怠慢ではないか。

また、上記⑤や⑦などは近隣住民が協力する奉仕活動もあることを忘れてほしい。

2年前の市長選・市議選に際して街づくりの私見を述べたが、その後さほど良くなったように思えない。優先順位をつけて一つずつ実行する気構えがあればできる筈である。行政はトップの理念とリーダーシップによるところが大きい。一方市議会は改善の動きが出てきたように思うが、多くの市民はどのように見ているのか。行政と議会を公平な立場で批評し提案もする市民グループが立ち上がればと思う。ハードだけでなく、財政・教育・民生などについても意見を交わすことができればと思っております。

上記にご批判とご意見を、更に思い切ったご提案もいただければ幸いです。

2023年5月1日

中西 卓

桜が丘西8-25-8

E mail: [naktak@sky.megaegg.ne.jp](mailto:naktak@sky.megaegg.ne.jp)

電話：086-608-1321



[ ] 内は関連の拙稿（ご連絡いただければメールなどで届けます）

2021.1.16 初稿

2022.10.2 改訂

2023.2.8 ① ④ ⑥ ⑦ を書き変え、追記 '23.5.1 前書きを追加